

## 京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H26年11月15日（土）

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センターの伊勢武史准教授による講義「人と自然の未来はどうか～シュミレーションで考える～」と、徳山試験地内での魚眼レンズによる天空写真撮影実習が実施されました。14名の参加者の皆さんは、講義を熱心に聴講され、森の散策を兼ねた実習にも積極的に取り組まれました。



まず、講義が行われました。

質疑応答の時間には、参加者からの熱心な質問にわかりやすい解説をしていただきました。



次に、森の中で実習です。



この魚眼レンズを使用して  
暗い森と明るい森の樹木を  
撮影しデータを解析します

晴天にも恵まれて、  
有意義な講座でした♪

